

鐵道の敷設されて居らぬ主要町村間を連絡する許りでなく、東京、交趾支那に於ては鐵道を併行する道路に於ても運行され、鐵道を壓する勢であつた。

## 道路と飛行機

此の拙なき一文を、謹んで護國の英靈に捧ぐ。

「我に機あれど、飛機無し」我に攻撃する好機は度々あるけれども、残念ながら飛行機が足りない。此の嘆聲、此の悲痛な叫びを國民は果して何と聞いたであらうか。勿論一機も早く多く作らうと懸命な努力を拂ひつゝあるには相違ないが、事茲に立ち到つたのは何故であるか、其の原因に深く想ひを廻らしたものが幾人あらう。アツツ島の玉碎、タラワ・マキン島、クエゼリン・ルオット島の悲報に想ひを致すとき熱い血汐の沸き立つを禁じ得ない。

何が故に斯くの如き苦戦を嘗めなければならなかつたか、即ち何故飛行機が足りないのか。一言に盡せば「我國の道路が悪い」からである。周知の通り我國の道路は他の文明諸國に比して極めて低位にある。勿論國道あり縣道も數多くあるにはある。然しながら國道のヨクは慘酷の酷であり、縣道のケンは危険の險である。即ち道路は多くあるけれど慘酷道や危険道ばかりで、自動車は安全に通行し得るものは極めて僅少

斯様に、道路の發達に伴ひ、佛印に於ける自動車交通は發達の一途を辿りつゝあつたが、今次大戦以來、燃料の消費規正と新車の入手難のため、自動車交通著しく縮少されるに至つた。

## 河村協

なのである。更に自動車が其の本來の機能を發揮する程の速力を出し得る道路と言へば殆ど皆無に等しい。斯様な状態に於て自動車は普及する筈がなく、従つて自動車工業が發展しないのは當然なことである。此の自動車工業が進歩せず、製作工場に何等見るべきものが無かつたといふことが、即ち今日飛行機の足りない重大なる原因となつたのである。自動車工業の發達は直ちに航空機工業の進歩を來す基礎となるからで、敵アメリカは、多くの自動車道路を有してゐたがために平時大量の自動車を製造しつゝあつた關係上、開戦後間もなく、一舉に之を航空機、戰車其の他の機動兵器工業に轉換し續々と増産した。決して天文學的數字では無かつたといふことである。尙自動車の普及發達は、必然的に其の操縦技術の練達と操縦者の増大を招來し、航空機操縦者の基礎的訓練を遂行しつゝあつたこととなり、引いては大量な飛行機と其操縦者とも一度に獲得した結果となつたのである。

斯くの如く道路の良否は直接航空機工業に重大關聯をするもので、

極言すれば、我國の惡道路が、あの悲痛極まる玉碎部隊を生じた重大なる原因となつたのである。

次に現下特に努力不足の聲を聞くが、しかし努力は逼迫してゐるであらうか。眼を轉じて停車場を見よ、長蛇の列を作つて長い時間を空費してゐるあの數多くの人々を見よ。莫大な努力が各停車場では遊んでゐるのだ。不足どころか有り餘つて溢れ出してゐるではないか。それは鐵道が輻輳してゐるからで、更に此の混雜を鐵道に依つて解決しやう、しなければならぬ現狀にあるからである。即ちたゞの一本も道路の幹線が無いからで、否幹線はあるが自動車幹線道路が無いからに起因する。

然しながら道路は決して鐵道の補助的なものではなく、それ自體で幹線となるべきものである。のみならず鐵道と物資とを連絡する小運搬、積卸しはどうしても道路に俟たなければならぬ。従つて道路は獨立し得るけれど、鐵道はそれ自體のみで輸送の完結を圖することは絶対に不可能なものである。それに現下の戦争は空襲戦である。僅か二本のレールに全生命を托してゐる鐵道が、一朝空襲にさらされて、此のレールのほんの一部分でも破壊された場合のことを考へて見やう。我國の輸送力は忽ち全滅状態となる。強いて空襲を想定しなくても、雨が降れば不通、雪が積れば不通である。斯くの如き事故頻發する鐵道に輸送を依存してゐることは一朝有事の際思はぬ混亂を招來し極めて危険なりといはなければならぬ。即ち輸送の完遂は道路に依らねば期し得ないので、其の道路の整備擴充を圖らなければ、輸送の確保増強

は到底望まれないのである。

然るに戦時下といふことから、道路の改修はおるか修理が不充分でも問題にしないやうな非科學者がないだらうか。道路の不完全は其の上を通る運輸機關に多大なる損害を與へる。就中自動車の速力が制限せられ、車體の損傷が多く、タイヤ其の他の部分品も消耗が早く、燃料は浪費される等其の活動が阻害せられ輸送力は著しく減殺されるのである。而して今日の如き物資不足な場合には、自動車の修理も容易に抄らず、ために其の間遊休自動車が多くなり、更に輸送力の減退を倍加することゝなる。其の他知らずして多くの時間と物資とエネルギーを浪費してゐるのである。

大東亞の建設は道路から、須らく大東亞に互る大幹線道路網を設定し、其の主なる道路を専用自動車道として急速に建設し各國土の在來道路は之と關聯して整備擴充すると共に、地方道路愛護に徹し以て輸送の完遂を圖ることこそ、大東亞戦争完遂への捷徑であると考へる。

(一九・四・二二)

